

意見第2号

国民健康保険税の引き下げのために国負担の大幅増を求める意見書

標記の議案を次のとおり久喜市議会会議規則第14条の規定により提出します。

2024年6月24日

提出者 久喜市議会議員
渡辺昌代
賛成者 久喜市議会議員
杉野修
川辺美信

久喜市議会議長 上條哲弘 様

国民健康保険税の引き下げのために国負担の大幅増を求める意見書

国民健康保険税が高すぎます。久喜市の令和5年度の国民健康保険税は、世帯年収528万円の4人家族で504,900円と、負担の限界をこえています。それにもかかわらず、5月現在で明らかになっているだけで、県内32市町が令和6年度の国民健康保険税の引き上げを決定しました。本市では、令和6年度の国民健康保険税について、世帯年収528万円の4人家族では年67,100円の引き上げを決定し、572,000円になってしまいました。

市町村では、同時に介護保険料、後期高齢者医療保険料の引き上げも決定されており、物価高騰と合わせて市民生活を追い詰めるのは必至です。県と市は、独自の一般会計繰り入れで国民健康保険税を引き下げ、市民負担を軽減すべきです。

国は、保険者努力支援制度で、県と市町村を法定外繰り入れ全廃・国民健康保険税の統一へ誘導してきました。さらに県は、国民健康保険運営方針で、法定外繰り入れ全廃などを市町村に押し付けてきました。これらが、国民健康保険税引き上げへとつながっています。

近年パート従業員などを中心に国民健康から社会保険への移行が進んでいます。このままでは国民健康保険被保険者は激減する一方、残った低所得者に耐え難い負担が押し付けられることになりかねません。国民健康保険は社会保障制度です。国は国民健康保険税引き上げを誘導するのではなく、今こそ都道府県知事会が要求してきた1兆円の国負担増を実施すべきです。

また、子ども・子育て支援金の国民健康保険上乗せ額は、世帯年収 400 万円の被保険者 3 人家族で 19,800 円と試算されています。被用者保険と比べても、約 1.8 倍という大幅な負担です。被用者保険も含め、支援金が国民健康保険税に上乗せされることのないよう強く求めます。

よって下記のことを求める。

記

- 1、国民健康保険への 1 兆円の国の負担増を実施すべき
- 2、国民健康保険への子ども・子育て支援金の上乗せをしない事

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

久 喜 市 議 会

衆 議 院 議 長
参 議 院 議 長
内 閣 総 理 大 臣
総 務 大 臣 あて
財 務 大 臣
農 林 水 産 大 臣